2025年度事業予定や円滑な業務運営にむけ交渉
早期の労働条件改善へ
～2025.4.23～

４月23日、九州地本では２０２５年度事業予定等に係わる団体交渉を実施しました。
今回の交渉では、当局側交渉委員に変更があり、総務企画部長・総務課長補佐・森林整備課長に変更があってから初の交渉となり、令和７年度業務予定に対して当局認識を再確認する場として交渉が進められ、交渉委員が変更となった総務企画部長の決意表明により開始となりました。

当局側交渉委員に変更があり、これまで同様に九州の実態を訴える

冒頭、加藤委員長から「当局側交渉委員も変更となったが、特に、当局幹部が九州局で何をやりたいかということは、職員も関心を持つ部分。自ら発信しつつ職員との信頼関係を築いてもらいたい。交渉内容は継続課題が主であり、議論すべきは議論するという基本スタンスのもと、当面的な対応や、将来像の描き等、前進に向けた当局の対応を求める」と挨拶し、交渉に入りました。

具体的な内容として、

①当局責任における収入確保を図ること。
②生産・造林・林道等の各種事業に必要な予算確保を図ること。
③森林整備等の低コスト施業は、現地の実態に即したものとし、林業事業体の経営に影響の出ないものとすること。
④非常勤予算を確保すること。
⑤空席ポストの解消と要員確保や、経験年数等の昇格要件を改善すること。また、新規採用や中途採用の確保を図ること。
⑥職員の負担軽減に向けて、業務の大幅な改善を図ること。
⑦超過勤務の縮減と年次有給休暇取得の対応策を示すこと。
⑧２０２６年概算要求に向けて、必要な定員・新規ポスト（総括治山技術官、支署次長級ポスト）の確保を図ること。
⑨心の健康づくり対策の充実や、安全管理体制の機能強化を図ること。
⑩日額旅費規程廃止に伴い、現場実態を踏まえ、現場業務等に係る運転手当を創設すること。
⑪赴任旅費は、自家用車の運搬費用を対象経費に見直すこと。
⑫山上等作業手当について、支給適用業務を拡大するなど、支給要件の見直しを行うこと。
⑬再任用職員について、支給対象外の手当を支給対象とすること。また、赴任期間や赴任旅費の適用、短時間再任用の宿舎貸与など、労働条件の改善を図ること。

などについて、強く求めました。

当局からは

ア．２０２５年度業務運営などについては、効率的に職員の負担軽減を図りながら実行していきたい。
イ．各種事業における署等への必要予算については、今後も現場実態を把握しながら、引き続き上部へ予算要求を行っていきたい。
ウ．低密度植栽や、下刈りの減などを検討している。今後も現地の実態に即したものとしていきたい。
エ．非常勤予算の確保については、人件費も上がってきている状況であるが、今後も現場系非常勤予算の確保に取り組んでいきたい。
オ．空席ポストの解消と要員確保については、厳しい状況は認識しており、新規採用者を確保していきたい。上位の級の仕事をしている職員は、人事評価で適切に評価していきたい。昇格要件の改善は上部へ伝えたい。
カ．業務の大幅な改善については、ドローンでの収穫調査などの方法や、事務改善にも取り組んでいる。
キ．超過勤務の縮減と年次有給休暇取得に向けた対応策について、局では定時退庁週間も定着している。一部の者に超過勤務が偏らないようにしたい。
ク．総括治山技術官等の配置については、上部も把握している。災害も多発している現状を上部に伝えていき、負担軽減に努めていきたい。
ケ．労働安全確立については、人命が第一であり署長等に対しても周知している。今後も3号通達に基づき、当局のリーダーシップを発揮しながら労働安全管理体制の確立に取り組む。心の健康づくり対策においても、早期発見のための相談できる環境づくりを進め、各署等に指導していきたい。
コ．赴任旅費、移転料については、法律、規則等により定められており、林野庁単独での解決は難しいが、上部へ伝えたい。
サ．山上等作業手当についても、赴任旅費と同様であるが、上部へ伝えたい。
シ．再任用職員の手当等についても、要望は上部に伝えていきたい。などと回答しました。

当局からは、九州内で解決出来るものは改善し、出来ないものは上部に伝え、意欲を持って働ける職場としていきたいとの決意表明もあり、今後も目配り気配りを行い、リーダーシップを発揮しながら改善に取り組み、今後も継続協議していく事を確認し、交渉を終了しました。

４月期人事異動後　九州地本執行体制一覧

分　会	執行委員長	副執行委員長		書記長	（財政担当）	執　行　委　員		
福　岡	稲員　優次	辻田　優衣		橋本　暁寛	辻田　優衣	久保　和幸		
佐　賀	峯　良彦	三國　卓裕		中島　純也	堤　広喜	堤　広喜		
長　崎	森　浩	長瀬　聖人		清田　泰志	志村　康介	志村　康介		
熊　本	小園　英行	古村　理恵子		今村　誠	古村　理恵子	塩崎　暢彦		
熊本南部	西山　太英	後藤　貴裕		藤川　涼一	橋本　麻美	松永　恭一	橋本　麻美	
大　分	井上　和也	山形　良平		（空）	中村　帝	中村　帝		
大分西部	蒲池　勝也	川原　博		稲員　友樹	木下　昂大	木下　昂大		
宮崎北部	岩本　浩三	下田　悠介		山川　祐一	山川　祐一			
西都児湯	（空）	木﨑　真一郎		鶴山　喜之	木﨑　真一郎	竹下　清高	濱本　桜	
宮　崎	（空）	藏富　英典	河合　さつき	柿田　憲司	兼城　華鈴	山元　義希	兼城　華鈴	
技術センター	加藤　省三	高橋　陽介		山本　佑主	高橋　陽介			
都城支署	河本　正人	柿田さおり		那須　芳広	那須　芳広	小谷　豊	田中　凌大	吉原　遥斗
宮崎南部	川口　文明	和田　弥己		高森　公章	冨田　尚斗	冨田　尚斗	沖田　正志	
大　隅	小島　洋一	岩下　泰弘		山口　雄大	岩下　泰弘	竹崎　諒	川畑　地歩	
北　薩	白内　慎哉	森本　博之		東　佑太	森本　博之	川畑　勇二	藤山　樹	中村　健一
鹿児島	小薄　政弘	江口　晃	松永　直人	松永　一彦	江口　晃	鳥居　大輔		
屋久島	歌野　邦美	山口　利明		木﨑　慎一	山口　利明	松井　涼太	塩澤　翔	
沖　縄	坂本　法博	井上　欣勇		小崎　凌平	井上　欣勇			
局	後藤　一哉	坂田　恵	小山　雄平	平松　大志	坂田　恵	下大迫　伸一	小原　豊治	
地　本	加藤　吉征	中川　秀樹		古村　健児	松本　慎剛	松本　慎剛	歌野　国光	加来　尚貴

2025年6月1日 現在

当面の行動

6月8日　森林労連代表者会議・中央行動（東京都）
6月11日　連合九ブロ代表者会議（那覇市）
6月20日　全国代表者会議
6月23日　中央・地本オルグ期間
7月5日　共済理事会・代表委員会（東京都）
7月12日～13日　九州地本定期大会

匠の腕ワンショット

「林野庁最西端事務所からの景色」

（撮影者　大城千英：沖縄分会）

「匠の一言」
自然豊かな西表島に来れば、毎日このような綺麗な景色が見られます。

年輪

先日、ボクシングの世界タイトルマッチがあり、その選手は九州出身で関東のジムに所属している。前回チャンピオンだった時の挑戦者との再戦で、前回は敗れ、今回は挑戦者としてリマッチが行われたが、残念ながら12ラウンドの判定で再度敗れた。判定が言い渡された後、コーナーで椅子にもたれ掛かり、呼びかけにも反応せず担架で運ばれた。まるで「あ〇たのジョー」の様だった▼当たり前だが、ボクシングではパンチが効いても顔には出さない。世界のとある地域では大したパンチも当たってないのに当たったアピールでポイントを稼ぐ選手もいるが、それは例外だ▼選手を管理する運営はダメージを把握してなければ、試合を組んではならない。職場においても「ダメージがあるとは知らなかった」という事は断じて許さず、管理者は常に目配り気配りを忘れないでもらいたい。
（SUKE）

林野労組九州
発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
(電) 096－354－1150
発行責任者　加来尚貴
発行日　10日
定　価　1部20円
組合員の購読料は組合費の中に含む

緑を育て、守る、林野労組

組織財政確立委員会が開催される
今後の組織運営に向け意思統一

今後に向け熱い議論が交わされる

５月30日、熊本市において２０２４年度組織財政確立委員会が開催されました。各ブロックから委員が参加し、北部ブロックから蒲池委員（大分西部分会）、熊本ブロックから後藤委員（局分会）、宮崎ブロックから井上委員（宮崎分会）、鹿児島ブロックから岩下委員（屋久島分会）、九州地本から古村書記長、松本執行委員（財政担当）、加来執行委員（組織担当）の７名で開催されました。

会議の冒頭、加来執行委員から「本日は遠方より参加頂いたこと、また、連日の取組に対して感謝を申し上げる。本委員会において活発な意見等をお願いし、今後に向けて意思統一していきたい」と開会の挨拶がありました。

その後、古村書記長より、異動に伴い役職が空席となっていた組織財政確立委員長のポストについて、経緯を説明し、局分会の後藤委員長が引き続き組織財政確立委員を引き継ぐことについて話があり、全員で確認しました。

組織財政確立委員長については、委員間で議論を行い、新たに大分西部分会の蒲池委員長に決定し、新委員長が議長に就任し、会議が進められました。

新委員長となり意気込む蒲池さん

議題について地本執行部から話があり、まず始めにこれまでの取組に対する進捗状況を確認しました。その後、２０２５年度に向けて検討された規約改正（案）について、松本執行委員から提案され、全員で確認しました。また、今後の財政の見通しについても提案され、本部からの地本還元額が減少となり、厳しい見通しであるものの、様々な工夫を行いながら、今後の取組を維持していくことを全体で確認しました。引き続き加来執行委員から２０２５年度の組織態勢強化に向けた取り組みが提案され、詳細について今後調整していく部分もありますが、取組の内容として全体で確認しました。

現在の状況として、これまで分会執行部を担ってきた世代の大量退職や、若手職員の増加等により分会体制も低年齢化が進んでいるなど、組織態勢にも変化が生じています。また、財政においても、地本専従分の還元額が減少していくなど、様々な変化が生じている時期であると思います。そのような時期だからこそ、組合員全体で考え、より良い組織になっていくよう、今後も引き続き取り組んでいきましょう。

新規採用組合員紹介（続報）

設問は以下のとおり　①出身地　②出身校　③趣味・特技　④尊敬する人　⑤好きな言葉　⑥組合員の皆様へ

（大卒）新藤（しんどう）彰将（あきまさ）

宮崎分会

①愛知県
②東京農業大学
③ラーメン屋・寺社・温泉巡り
④高校の時の担任
⑤死ぬか死ぬ気でやるか
⑥これからよろしくお願いいたします。

（大卒）白濱（しらはま）光（ひかる）

屋久島分会

①熊本県
②日本自然環境専門学校
③映画館巡り・料理・音楽鑑賞（懐メロ、洋ロック等）・水泳（遠泳）・屋久島で釣り、登山等を開拓したい。
④小城尚徳1等海佐（元護衛艦いずも艦長）
⑤4割引・半額
⑥紹介が遅れましたがよろしくお願いします！飲み会・イベント等に参加するのが好きなので誘ってもらえると嬉しいです。仕事もプライベートも屋久島生活満喫したいと思います！

（大卒）豊田（とよだ）未来（みく）

長崎分会

①沖縄県
②琉球大学
③映画鑑賞・ドライブ・カフェ巡り・木登り
④自立している人、博識な人
⑤笑顔でいればなんとかなる
⑥よろしくお願いします！

人吉球磨地協・労福協「連合の森活動」
“夜狩尾国有林　連合の森奉仕作業”

令和７年５月25日夜狩尾国有林内の連合の森において、各単組などから約30名が集まり、ツツジの剪定、広場の除草作業に汗を流しました。

毎年取り組んでいる「森を守る育てる活動」の一環であり、雨天でありましたが森林整備を行いました。

昨年も雨天のため中止となっていましたが、活動継続のため、今年は午前10時から実施。吉村議長が「山の大事さ自然の大事さを願って皆さんで安全作業で行いましょう」と呼びかけ作業開始。

ツツジ周辺の生い茂った草の間引き、広場では刈払機で刈り、かき集めなど汗だくになりながら約１時間の作業を行いました。最後に看板前において記念撮影をし、終了しました。

（熊本南部分会：後藤通信員）

第96回メーデー開催
長崎分会

５月１日、諫早市内において「第96回諫早地区メーデー」が開催され、当分会から５名参加してきました。

当日はあいにくの雨となり、場所を市役所前交流広場から屋内の高城会館へ移して行われましたが、約１５０名もの組合員が集結しました。

冒頭、諫早地区メーデー実行委員長より「戦後・被爆から80年を迎えるが決して戦争の記憶を風化させてはならない。被爆地長崎の県民として平和の尊さ、戦争の悲惨さを次代に継承するとともに、非人道な核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、平和活動を進める必要がある。また、夫婦別姓・企業規模間、雇用形態間、男女間の格差是正・賃上げ等、国内の情勢を変えるためにも、夏の参議院議員選挙において推薦する候補者の全員勝利を実現するため活動していくことが重要である」との挨拶がありました。

後半ではお楽しみ抽選会もあり、豪華賞品が並ぶ中、当分会からは3等が当たった方もいて、大変盛り上がりました。（筆者も当たることを期待しましたが、結果は参加賞のレトルトカレーでした…）

今回のメーデーにて意思統一された取り組みを基に、今後の活動に生かしていきたいと思います。

（長崎分会：清田通信員）

長崎分会の精鋭が出揃う！

あのこの人どんな人

「鹿児島署のひまわり」

一川　彩華さん（鹿児島分会）

鹿児島署分会からご紹介するのは、当分会の「ひまわり」のような存在の一川彩華さんです。

一川さんは熊本県出身で芦北高校を卒業後、令和６年４月に鹿児島森林管理署に採用され、今年で２年目を迎えます。昨年度までは資源活用を、今年から森林育成を担当し、頼れる上司に教わりながら幅広く学んでいます。入庁してすぐに臆することなく電話対応に挑戦し、今では電話の音が鳴る前に取るほど極めています。

ひまわりのように周りを明るく賑やかにする

公私問わず元気いっぱいな一川さん、署にいない時といる時では署内の雰囲気がまったく違い、いない時は20dB程に対して、いる時は１５０dBになるほど賑やかになります。そんな一川さんの休日の過ごし方は、ひたすら寝ること（起きている時間は３時間程で、食事をしているそう）です。今年からやってみたいことは、神社や仏閣を巡ることだそうです。また、お菓子づくりをしており、「ガトーショコラ」や「シフォンケーキ」などを作っています。私も一度、食べさせてもらいましたが、見た目はとても綺麗で味はとても美味しかったです！

常に笑顔を絶やさず、ひまわりのように周囲の人々に元気を与える一川さんの今後の活躍に目が離せません。

（鹿児島分会：松永通信員）